

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市青少年問題協議会
- 2 開催日時 平成30年11月26日(月)午後3時30分から午後4時45分まで
- 3 開催場所 水戸市役所 3階 304号室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
田山喜子, 大津辰夫, 岡田澄子, 井川明美, 岩下智子, 八木岡しづ子, 立川力,
佐々木雅敏, 亀丸建吾, 澤田敦志, 木下美直, 栗田雄二, 綿引健, 小泉康二
 - (2) 執行機関
高橋靖, 大澤秀樹, 山田規生, 鈴木雅人
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 水戸市青少年・若者育成基本計画(第2次)に基づく, 水戸市の取組について(公開)
 - (2) 関係機関, 団体等の取組について(公開)
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 0人
- 8 会議資料の名称
 - (1) 平成30年度第1回水戸市青少年問題協議会
- 9 発言の内容
(開会のあいさつ, 委員自己紹介)
【会 長】
それでは議事に入りますが, (1)水戸市青少年・若者育成基本計画(第2次)に基づく, 水戸市の取組について, 説明願います。

【執行機関】 (資料説明)

【会 長】

ただいま事務局から、水戸市青少年・若者育成基本計画（第2次）に基づく水戸市の取組について、御説明いたしました。御質問や御意見があればお願いいたします。

【___委員】

「青少年の健全育成に協力する店」については、外から見てわかるようになっているのか。

【執行機関】

登録している店舗には県指定のシールを貼っていただいている。

【___委員】

お店の方で、制度としては協力するが、店舗の景観のこともあり少し目立たない場所に貼りたいという要望を受けることもあり、実情に合わせて対応している。

様々な団体が協力し、青少年の健全育成に協力していこうという趣旨で実施している。

水戸駅等で街頭補導をしても、対応しきれない事案が出れば、教育委員会に連絡して、共同で対応する体制をとっている。

【会 長】

いろいろな実情があるかと思うが、これからも話を聞きながら、内容の充実に御協力いただければと思います。

【___委員】

少年自然の家がリニューアルオープンした。様々な設備も新しくなり、うれしく思っている。

来年は国体があるので、気運をあげる意味でも、活動に国体を取り入れてはいけな
か。例えば競技を経験してみる等の経験をとおして盛り上げていければと思っている。

また、子ども会の小学生加入率を目標50%としているが、根拠は何か。

【会 長】

国体の件は、国体推進局と連携をとって、少年自然の家を利用している方と何かできないのか検討したい。

【執行機関】

子ども会の加入率は、平成24年度の加入率約50%を目安に、地域への帰属意識の向上の意味もあり、諸々の施策にとりくんでいる。

【___委員】

自分の経験として、子ども会に入って育ってきた。地域の中での上下のつながりができて、それが今でも生きている。

具体的に加入率を向上させていく方法は、手探りだと思う。保護者の負担もあるし、子どもの時間の制約もある。小学生で週8つの習い事をしている子もいると聞いている。組織自体が今のままで良いのかということも検討課題だと思う。

中学校単位や、ブロック単位に範囲を広げてみるのも一つの手ではないかと考えている。

【会 長】

子ども会のことについて何か意見はありますか？

【___委員】

私の学区でも子ども会の加入率は下がっているが、学校と地域の方々はよく協力してくれている。例えば校長先生がお話してくれると、子どもたちはすごくよく話を聞いている。地域によっては子ども会に対しての思いの温度差があると感じている。

水戸市子ども会育成連合会では、未就学児に対するPRイベントや、学区の区別なく全市の子ども会員を対象にした体験イベントを実施した。

【___委員】

目標値には柔軟性を持たせた方が良いのではないか。コミュニティの例だが、規模がより大きなコミュニティの方が、効率よく機能した。

【会 長】

(2) 関係機関、団体等の取組について、皆様の日頃の取組についての御紹介、御意見はありますか？

【___委員】

少年自然の家のリニューアルに本当に感謝している。これまで市外に出ていかなくはならなかった。

火起こし等は、先生でも不得手な先生が多い。計画目標の数字も大事だが、そこで何ができるかが大事だと思う。

【会 長】

学校とは違うコミュニティでのつながりも大切だと感じている。

【___委員】

内原地区を中心に実施している「チャレンジ・ザ・原始人」では、参加したOBが指導者として戻ってくるケースがみられる。

【___委員】

市民センターまつりにスタッフとして参加した。市民センターが、子どもたちと地域の大人との交流の場となっていると感じた。

【__委員】

子どもたちが、認められた時の表情を汲み取ってくれる大人社会を作っていかななくてはならないと感じている。

【__委員】

水戸黄門漫遊マラソンでは、案内のボランティアとして参加した。国体にも参加する予定でいる。子どもたちも、参加者に声をかけてもらってうれしかったと思う。

若者の力を発揮する色々な人を巻き込んで、会員の増加につなげていきたい。

【__委員】

アドバイザー養成講座として、県警の方をお招きして講演を行った。県内で特殊詐欺の受け子として青少年が関わるケースが増えており、啓蒙活動の重要性を感じている。皆さんの団体でもぜひ講演を聴いて、広めてもらいたい。

【会 長】

本日は、委員の皆様から貴重な御意見を多くいただきまして、ありがとうございました。それでは事務局にお返しします。

【執行機関】（閉会のあいさつ）